

あゆみ通信

VOL. 158

あゆみの会(真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会)推進連絡協議会
会長 細川 克彦
広報 本持 喜康

あゆみの会 第1回例会決行



3月25日(金) 午後1時30分から、天王寺区の稱念寺(岸野龍之住職)をお借りして、コロナウイルス感染下で、2年以上空白の続いた聞法会を、まん延防止宣言解除直後に、開催を決行しました。

残念ながら、コロナ感染の影響は大きく、慎重を期して、また躊躇されたこともあり、勇気をもって参加されたのは8名でした。

開会には本持(即應寺)の進行、真宗宗歌斉唱で開会しました。講師の岸野龍之先生は、「出会いをいただく」とする講題で、いろいろなご縁で多くの人との出会いを通して、仏さまと出会う場をと、①人と②言葉と③自分との出会いについてお話しいただいた。(法話要旨は別項)

休憩後は、吉田雄彦副会長の司会で座談をし、先生のお話について参加者から各自らの出会いについて話が弾み、第2組寺院の興隆のためにも、仏法聴聞の場を持ちたいと話しあつたことでした。最後に恩徳讃を斉唱して終わりました。

第2組5月聞法会 「共に学ぶ正信偈」

日時 5月27日(金) 午後2時
会場 了安寺(天王寺区夕陽丘)
講師 新田修己先生
(第4組 正業寺)
参加費 500円

6月聞法会

日時 6月18日(土) 午後2時
会場 法山寺(阿倍野区天王寺町)
講師 宮部 渡先生
(第15組 西稱寺)
参加費 500円

2023年慶讃法要 第2組団体参拝3/28に

来春の宗祖親鸞聖人御生誕850年・立教開宗800年慶讃法要に大阪教区として団体参拝する日程の抽選が去る3月17日に教区で抽選があ

り、第2組の墨林浩組長が参加されて、2023年3月28日(火)に決まりました。



詳細は別途お手次の寺院を通してご連絡があります。

なお、当日は朝バスで大阪を出発し、京都博物館で開催されている親鸞聖人展を鑑賞し、その後真宗本廟(東本願寺)に入り、昼食の後法要に参拝して、大阪へとという行程になると思われます。(変更される場合あり)ご期待ください。

予告

朋友会と合同研修会6/21(火) 即應寺で開催決定

長らくコロナ騒ぎで中止になっておりました第2組の次代を担う青年僧組織「朋友会」とあゆみの会の合同研修会の開催が、下記の通り決まりました。詳しくは次号で。

日時 6月21日(火) 13:30~
会場 即應寺(阿倍野区阪南町)
講師 神保 朝成先生(憶想寺)
ご参加をお待ちしています。

親鸞のことば

「今」を大切生きる

臨終待つことなし、来迎たのむことなし(親鸞聖人御消息集)

いのちを終える時、阿弥陀さまが迎えに来てくださる。これを「臨終来迎」といいます。仏教ではさかんに説かれ、民衆も臨終来迎を期待して日々の生活を送ってきました。しかし、親鸞は「臨終待つことなし、来迎たのむことなし」と言います。臨終のときまで待たなくても、念仏をする今、阿弥陀さまがすでに来て私たちにはたらいっているのだと説き、それが「来迎」であるとするのです。

(名古屋別院「人生を照らす親鸞の言葉」より)

世の中安穏なれ、 仏法ひろまれ

昨今のロシアによるウクライナ侵攻による民衆の悲嘆の映像が流れるたびに、胸が痛む。この言葉を思う。

宗祖親鸞聖人の教えを引くまでもなく、世界は平和でなければならぬ。

一人の横暴なリーダーの一存で、他国を侵攻してはならないのは、第2次世界大戦のヒトラーを見るまでも無い。信楽焼の言葉が思い出される。

「真宗教義が教示し、その真宗信心がめざすものは、阿弥陀仏の誓願において明確であります。『無量寿経』に教説されるように、それぞれの国家としては『兵戈無用』の立場に立つべきであって、非戦平和の思想を貫徹すべきだと思います。(中略)

一切の生命を尊重するということこそが、真宗倫理の根本原理でなければなりません。(中略) すなわち、真宗信心が目指すのは、非戦平和、生命尊重、平等社会と言うことであって、私たち真宗者は、この方向に焦点を定めつつ、一層心して生きるべきであります」(親鸞で学ぶ人生の生き方 《法蔵館》より)

あらためて、自身が今何ができるか、何をするかを、問われている気がする。合掌。(本)

先生の言う「真宗者」は、「真実宗教を生きる人」を言う。

如是我聞 岸野先生の法話聞き書き 細川克彦(佛足寺)



岸野先生は、「出会いを戴く」という講題で“出遇い”と書く、一生を左右するような大きなことや人との出遇いも大切であるが、日常的なことや言葉や人との出会いも大切ではないかと言うことで、“出会い”と言う字を使われたことをはじめに話された。

お寺を預かっている者として、何とか仏さまと出会う場、また人と人が出会う場にしたいと言うことで、ライブを開いたりヨガの会場にしたりして、少しでもお寺に触れてもらえるように試みていると。

先ず、人との出会いと言うことで、ご自身が組内では「朋友会」、教区では「教学研修院」、またOB会である「八起会」で学んでおられ、先生や友人方からいろいろ教わり、歩ませていただいていると。

次に言葉との出会いと言



うことで、金子大栄先生(1881-1976、大谷大学教授、清澤満之師に師事＝事務局注)の「生涯を尽くしても悔いのないただ一つの言葉に出会うことが大切である」と言う言葉がここにずっとのこっていると。言葉に二度出会うと言うことがあり、以前に理解していた意味と、また違った意味を先輩や友人から教えられ、受け止め直すことの大事さを話された。



例えば、“知恵”と言う言葉を自分は何か軽く見ていたが、友人から“恵みを知る”と読むことを教えられ、とても大事な言葉であることに気づかされた。

最後に、自分との出会いと言うことで、釈尊の八相の中の“降魔”について、悟ることを妨げるために魔が何度も襲ってきたが、ある時、その軍団の中に元々仏教の守護神であった帝釈天がいたと。その時、釈尊は自分こそ魔であった、それは理性と言う煩惱であ



ったと気づかれたと。岸野先生

は、自分の至らなさに気付かせてくれる出会いもまた大切であると話された。

休憩後、座談会となり、先生を入れて僧侶もお二人が参加され、「場を開く」と言うことについて、また、推進員も高齢化が進み、このままでは先細るばかりである、何とかしなければと言う意見が何人かから出された。参加者一同、率直な意見交換が出来、有意義な座談会であった。

宗祖親鸞聖人御誕生850年・ 立教開宗800年慶讃法要 期間

第1期法要

2023年3月25日(土)～4月8日(土)

第2期法要

2023年4月15日(土)～4月29日(土)

讃仰期間

2023年4月9日(日)～4月14日(日)

基本日程

13:00 集会 14:30 法話

13:20 勤行 15:00 終了

大推協情報

慶讃法要お待ち受け 「孫子世代への法義 相続奉仕団」募集中!

今日、真宗の教えが子や孫に伝わりにくくなっているのではないのでしょうか。この機会にお子さんやお孫さんに真宗の教えの入り口に立ってもらえたらと願っています。

つきましては、以下の通り募集します。ぜひ、ご参加ください。

主催 全国推進員連絡協議会

期日 2022年7月28日(木)～30日(土)

会場 真宗本廟 同朋会館

参加条件 推進員が孫や子と一緒に参加すること

募集人員 100名(各教区2組4人まで)

なお、参加費と交通費の一部を助成します

申込締め切り

5月31日

問合せ・申込

は、細川

(06-6779-53

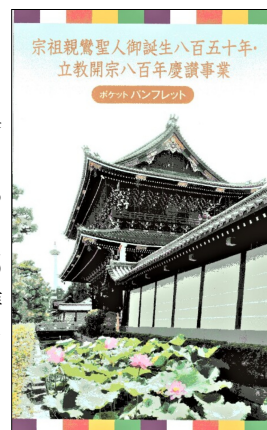
49)まで

(注) 詳細は5

月発行の「羅

網」125号を

ご覧ください。



これからの第2組間法会

〇7月間法会「共に学ぶ正信偈」

日時 7月23日(土) 14:00

会場 唯専寺(浪速区敷津西)

講師 新田修巳先生

(平野区 正業寺)

テキスト 赤本等

参加費 500円



〇8月間法会

日時 8月27日(土) 14:00

会場 光照寺(天王寺区上汐)

講師 広瀬 俊先生

(17組 法観寺)

参加費 500円

〇9月間法会

「共に学ぶ正信偈」

日時 9月27日(火)

会場 専行寺

(天王寺区堂ヶ芝)

講師 新田 修巳先生

参加費 500円

